

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【公表番号】特表2002-521490(P2002-521490A)

【公表日】平成14年7月16日(2002.7.16)

【出願番号】特願2000-562395(P2000-562395)

【国際特許分類】

C 07 K	7/06	(2006.01)
A 61 K	9/02	(2006.01)
A 61 P	31/18	(2006.01)
C 07 K	14/16	(2006.01)
C 12 Q	1/02	(2006.01)
G 01 N	33/15	(2006.01)
G 01 N	33/50	(2006.01)
A 61 K	38/00	(2006.01)

【F I】

C 07 K	7/06	Z N A
A 61 K	9/02	
A 61 P	31/18	
C 07 K	14/16	
C 12 Q	1/02	
G 01 N	33/15	Z
G 01 N	33/50	Z
A 61 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月24日(2006.7.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項17

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項17】個体における免疫応答の顕現方法に使用される治療剤の製造のための、請求項1～16いずれか1つに記載のペプチドの使用。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項18

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項18】筋内、腹腔内、経口、経鼻および経皮からなる群より選ばれる投与経路により個体にペプチドを導入する請求項17記載の使用。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項19

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項19】粘膜細胞へのHIVの侵入の妨害方法に使用される治療剤の製造のための、請求項12～16いずれか1つに記載のペプチドおよび担体または基剤を含むことによる薬物の使用。

**【手続補正4】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**請求項20**【補正方法】**変更**【補正の内容】**

【請求項20】担体または基剤が、フォーム、ゲル、薬物を保持するのに充分に粘性のその他の物質、水および緩衝液からなる群より選ばれるものである請求項19記載の使用。

**【手続補正5】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**請求項21**【補正方法】**変更**【補正の内容】**

【請求項21】担体または基剤が膣坐剤または直腸坐剤である請求項19または請求項20記載の使用。

**【手続補正6】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**請求項22**【補正方法】**変更**【補正の内容】**

【請求項22】ペプチドが膣、口または直腸に投与もしくは適用された直後または投与もしくは適用された後すぐに、該ペプチドが担体または基剤から放出される、請求項19～21いずれか1つに記載の使用。

**【手続補正7】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**請求項23**【補正方法】**変更**【補正の内容】**

【請求項23】ペプチドが膣、口または直腸に投与もしくは適用された後に徐々に、または投与もしくは適用された後、特定の期間の後に、該ペプチドが担体または基剤から放出される、請求項19～21いずれか1つに記載の使用。

**【手続補正8】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**請求項24**【補正方法】**変更**【補正の内容】**

【請求項24】薬物を、使用の条件下に該薬物の放出が可能となるような様式で避妊具の表面上に存在させるか、または避妊具内に組み込む、請求項19記載の使用。

**【手続補正9】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**請求項25**【補正方法】**変更**【補正の内容】**

【請求項25】薬物がg p 4 1の立体配座変化を防ぎまたは減少させ、それにより、粘膜表面の細胞へのH I Vの侵入を妨げる、請求項19～24いずれか1つに記載の使用。